

治療日：月 日

化学療法指示書

エリブルン+Trmab+PER 療法

患者ID			アルコール過敏		
患者氏名			指示医師		
身長	cm	体重	kg	体表面積	m ²

適応疾患
HER2陽性
進行・再発乳がん

投与スケジュール

Day (投与日)	(1 /)	(8 /)	(15 /)	(22 /)	(29 /)
--------------	---------	---------	----------	----------	----------

pertuzumab
(420mg)

(初回のみ840mg)



trastuzumab
(6mg/kg)

(初回のみ8mg/kg)



Eribulin
(1.4mg/m²)



Day1: 月 日

生理食塩液100mL ルート確保・フラッシュ用

本体①

生理食塩液 100mL
デキサート6.6mg 1V

15
分

本体②

生理食塩液 250mL
パージェタ mg

60
分

※ 初回のみ

生理食塩液250mL 1V
パージェタ 840 mg

*パージェタの初回投与の耐容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる

生理食塩液100mL 【30分経過観察】

30

本体③

生理食塩液 250mL
トラスツズマブBS mg(6mg/kg)

90
分
※

※ 初回のみ

生理食塩液250mL 1V
トラスツズマブBS mg(8mg/kg)

本体④

生理食塩液 50mL
ハラヴェン ()mg

5分

*トラスツズマブBSの初回投与の耐容性が良好であれば2回目以降の投与時間は30分まで短縮できる

本体⑤

生理食塩液 100mL

全開

Day8: 月 日

生理食塩液100mL ルート確保・フラッシュ用

本体①

生理食塩液 100mL
デキサート6.6mg 1V

15
分

本体②

生理食塩液 50mL
ハラヴェン ()mg

5分

本体③

生理食塩液 100mL

全
開

ハラヴェン 投与開始基準(各サイクル共通)

下記の基準を満たさない場合、投与を延期

- ・好中球数: 1000/mm³以上
- ・血小板数: 75000/mm³以上
- ・非血液毒性: Grade2以下

ハラヴェン 各サイクル1週目

前サイクルにおいて下記の副作用が発現した場合、減量した上で投与

- 7日間を超えて持続する好中球数減少(<500/mm³)
- 発熱または感染症を伴う好中球減少(<1000/mm³)
- 血小板減少(<25000/mm³)
- 輸血を要する血小板減少(<50000/mm³)
- Grade3以上の非血液毒性

ハラヴェン減量の目安

減量前の投与量 → 減量後の投与量

1.4mg/m² → 1.1mg/m²

1.1mg/m² → 0.7mg/m²

0.7mg/m² → 投与中止を考慮

ハラヴェン 各サイクル2週目

投与再開基準	投与延期後1週間以内に投与開始基準を満たした場合、減量して投与
休薬基準	投与延期後1週間以内に投与開始基準を満たさない場合